

2015年9月1日

アメリカ教育学会 会報第41号(2015 No.041)

発行/アメリカ教育学会事務局
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目19-1
九州大学 教育学部門 八尾坂 修 研究室
E-mail : jaaes.since.1989@gmail.com

[contents:学会活動報告、学会員研究活動、第27回大会のお知らせ、事務局より]

— 学会活動報告（日本学術会議協力学術研究団体への指定について） —

会員の皆様には日頃より学会活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、去る平成27年7月24日、本学会は、日本学術会議事務局より日本学術会議協力学術研究団体への指定を受けることになりました。

1989年設立以降、会員の皆様には「アメリカの教育に関する専門的・学問的知見を結集し、その知見を広く公にすること」*1にご賛同いただき、各人が精力的に教育研究活動に取り組んでいる実績評価であると存じます。今後とも年次大会、講演会、研究活動報告等引き続き皆様のご協力をお願いする次第です。

また本申請への業務については、前代表理事ならびに事務局でありました、加藤先生ならびに澤田先生には一方ならぬご尽力をいただき誠に感謝いたします。その他、学会活動の中心である大会主催や学会紀要編集については、多くの理事先生方のお力添えをいただいております。重ねてお礼申し上げます。

最後になりますが、本年度より新事務局体制による事務局運営がスタートしております。会員住所録や学会刊行物等については、問い合わせご対応等ご不便をおかけいたしますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表理事
八尾坂 修

*1:「アメリカ教育学会設立趣意書」より抜粋

－ 学会員研究活動報告（図書紹介） －

① 倉本 哲男 会員

Lesson Study and Curriculum Management in Japan ; Focusing on Action Research
Tetsuo Kuramoto and Associates (2014, Fukuro Pub., JP)

1. 研究知の「輸出」による国際貢献

これまでの我が国の外国研究において、諸外国からの知見を「輸入」し、国内研究への示唆を得る研究スタイル・方法論は、一定程度、既に確立されていると概括できよう。その発展系に位置づき、近年、研究知の「輸出」の先鞭をとった業績が散見されるが、本業績は、教育方法学・教育経営学的にテーマを絞った本格的な学術研究書である。また、本業績の研究価値は、学校マネジメント論に関する研究成果を、科学的根拠に基づく実証研究と合わせながら、海外の研究者・実践者に対して発信した体系性にあると考えている。筆者と associates は、アメリカを中心に国際学会活動を継続してきたが、本業績はこれらの研究知の「輸出」の集大成であり、教育学系の国際貢献活動の発展において、ささやかながら先駆的役割の一端として認識できよう。

2. 国際レベルの実践的・学際的有用性

本業績は、国際的に注目される実践事象である Lesson Study（以下 L・S）を研究対象としている。我が国の L・S とは、100 年以上の歴史を持ち、単なる授業の研究ではなく、校内研修のように、教師の資質向上を意図した学校組織的な授業研究であり、欧米をはじめアジア諸国での関心も高まり、国際的な専門学会（World Association of Lesson Studies）が設立されるに至っている。

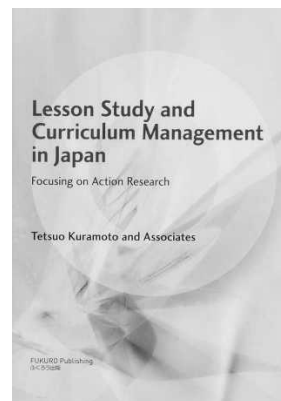
他の国内学会においても L・S の国際的価値が論じられるが、これを Curriculum Management に関する学校組織論の視点において分析・考察するならば、実は L・S は、学校マネジメント論の研究的・実践的な課題でもある。つまり本業績は、L・S を教育方法学・教育経営学的な研究視座で論じることで、学校マネジメント論の国際的発展に貢献するものであると総括できよう。

さらに、本業績では、多くの章において Action Research の研究方法を採用している。Action Research には様々な定義があり、概念の混乱が指摘されるが、丁寧な先行研究の整理によって、Action Research についての概念的・技法的合意の形成に成功している。

以上のように、本業績は、国際的に浸透した教育経営的な実践（L・S）を対象とし、Curriculum Management との整合性を論じた上で、Action Research の実践・行為研究によって分析を試みた教育方法学・教育経営学的な研究であり、国際的価値を持つ実践的示唆を豊富に含んでいると言えよう。

なお、本業績では、以上の文脈に鑑み、特に Action Research を解説した日本語資料を掲載しており、国内外において実践的・学術的有用性を有した研究となっている。

単行本（ソフトカバー）：234 ページ
出版社：ふくろう出版
ISBN-10：4861866154
ISBN-13：978-4861866159
発売日：2014/10/5



② 末藤 美津子 会員

ダイアン・ラヴィッチ著、末藤美津子訳

『アメリカ 間違いがまかり通っている時代 — 公立学校の企業型改革への批判と解決法』
(2015年、東信堂)

教育の「企業型改革」への強烈な批判と 11 の問題解決法：

標準テストの成績を単一基準とした学校評価、低成績の「失敗」校の閉校と教職員解雇、チャーター・スクールの導入等—本書は、学校の民営化へ舵を切ったこれら一連の「企業型改革」が、データの裏づけを持たぬ効果の疑わしい観念的所産であることを明らかにすると共に、教育向上のための取るべき真の方策を提示した力作であり、自らの主張でもあった「共通教養(スタンダード)」政策が複雑な全体状況から遊離して、グロテスクな歩みを始めたことに対するラヴィッチの怒りを、その強烈な批判に見ることができよう。

(同書帯より)

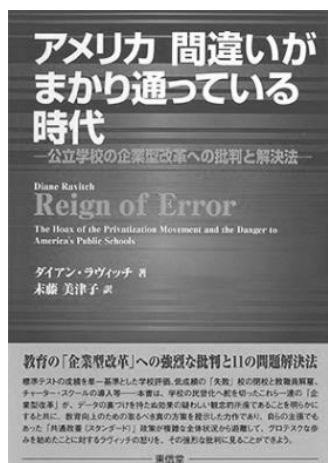
2015年6月20日刊
A5判上製 536頁
3,800円(本体)
ISBN978-4-7989-1305-6
コード 3037

著者：ダイアン・ラヴィッチ

訳者：末藤美津子

発行所：株式会社東信堂

<http://www.toshindo-pub.com/>



－ 第 27 回大会（2015 年度 於・武庫川女子大学）のお知らせ －

大会準備委員長 矢野裕俊

アメリカ教育学会第 27 回大会を 10 月 30 日（金、理事会）、31 日（土、自由研究発表・公開シンポジウム・懇親会）に武庫川女子大学で開催することとなりました。公開シンポジウムでは日米の教育に通じる時宜を得たテーマに取り組むなど、本大会を実りあるものにすべく、準備を進めているところです。会準備委員会一同心よりお待ちしております。

公開シンポジウム：「選択・分権・学校づくりー日米の経験から考える」

発表者： 木村 泰子（大阪市立南住吉大空小学校前校長）

滝沢 潤（大阪市立大学大学院）

湯藤 定宗（玉川大学）

コーディネーター：新谷 龍太郎（南海福祉専門学校）

概要：21 世紀に入って、アメリカのみならず日本でも学校教育をめぐって分権化や市場化が進むなかで公立学校においても学校選択制や新たな経営形態にもとづく学校づくりが模索されてきた。このシンポジウムでは、アメリカのチャータースクールと、映画『みんなの学校』で知られる大阪市立南住吉大空小学校という、日米の 2 つの学校の事例に注目し、これからの時代の学校づくりのあり方を考える。 (司会：矢野 裕俊)

－事務局より－

◆会費の納入を、同封の払込用紙にてお願い申し上げます。

平成 27（2015）年度分までの未納分がある場合は、同封用紙に記載があります。ご確認くださいようお願い申し上げます。紀要の送付につきましては、学会費納入完了の会員が対象です。ご協力をお願い申し上げます。

◆会員情報変更届について

アメリカ教育学会ホームページの入会案内等のサイトより、「会員情報変更届」用紙をダウンロードして、必要事項を記入の上、学会事務局まで電子メールにてご送信ください。

[学会費ならびに住所変更のお問合わせ]

(アメリカ教育学会事務局支部)

〒813-0193 福岡県太宰府市五条四丁目 16 番 1 号

福岡女子短期大学 文化コミュニケーション学科 担当/梶原 健二

E-mail : jaaes.since.1989@gmail.com

TEL&FAX : 092-922-9478 (できる限りメールでのお問合わせをお願いします)